

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和 7 年度
特別選抜（社会人）
小論文試験問題

100 点
60 分

千葉県立保健医療大学 健康科学部

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、表紙を除き 4 頁である。
3. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
6. 不正行為に対しては厳正に対処する。

問題 次頁からの英文と図について、以下の問いに答えなさい。

問 1 英文の下線部①について簡潔に説明しなさい。

問 2 英文の下線部②を和訳しなさい。

問 3 以下の単語を並び換えて、英文の下線部③に入る語句を書きなさい。

been, behaviors, evidence, have, healthy, prevent, shown, that, to, which

問 4 図 1 から図 3 について、(1) (2) の問いに答えなさい。

(1) 図 1 から 2025 年より 2060 年に推定される各年齢の認知症有病率が一定の場合と上昇する場合のそれぞれの認知症患者数の増加率を小数点第一位まで求めなさい (小数点第二位は四捨五入しなさい)。

(2) 図 2 と図 3 から読み取れることを書きなさい。

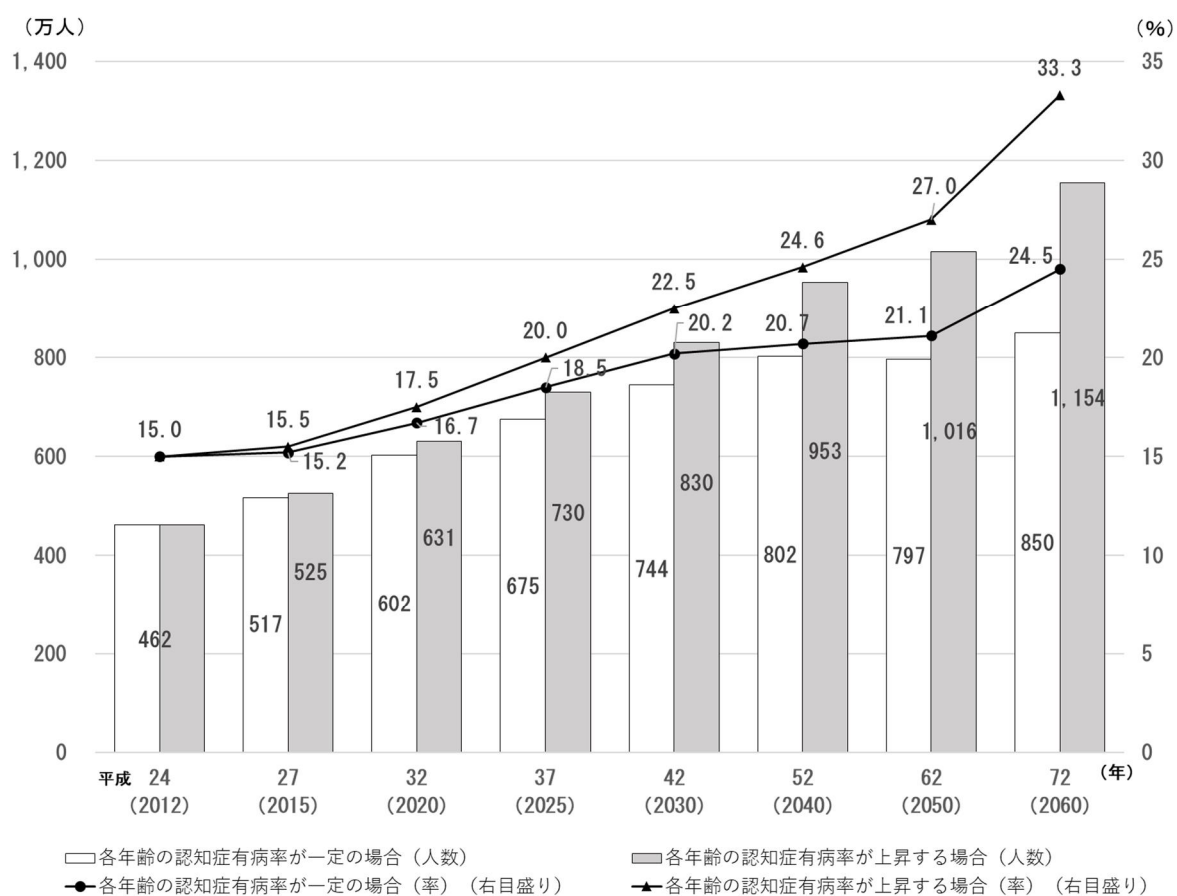
問 5 英文の内容と図を踏まえて、日本における認知症予防の課題を挙げ、どのような対策が考えられるか、あなたの考えを 450 字以上 500 字以内で述べなさい。ただし、原稿用紙の使い方に従うこと。

英文

著作権の関係上、省略します。

出典 : CDC: Alzheimer's Disease and Healthy Aging: Dementia Risk Reduction,
August 23, 2022. (一部改変)

図1 65歳以上の認知症患者の推定者と推定有病率



資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授）より内閣府作成

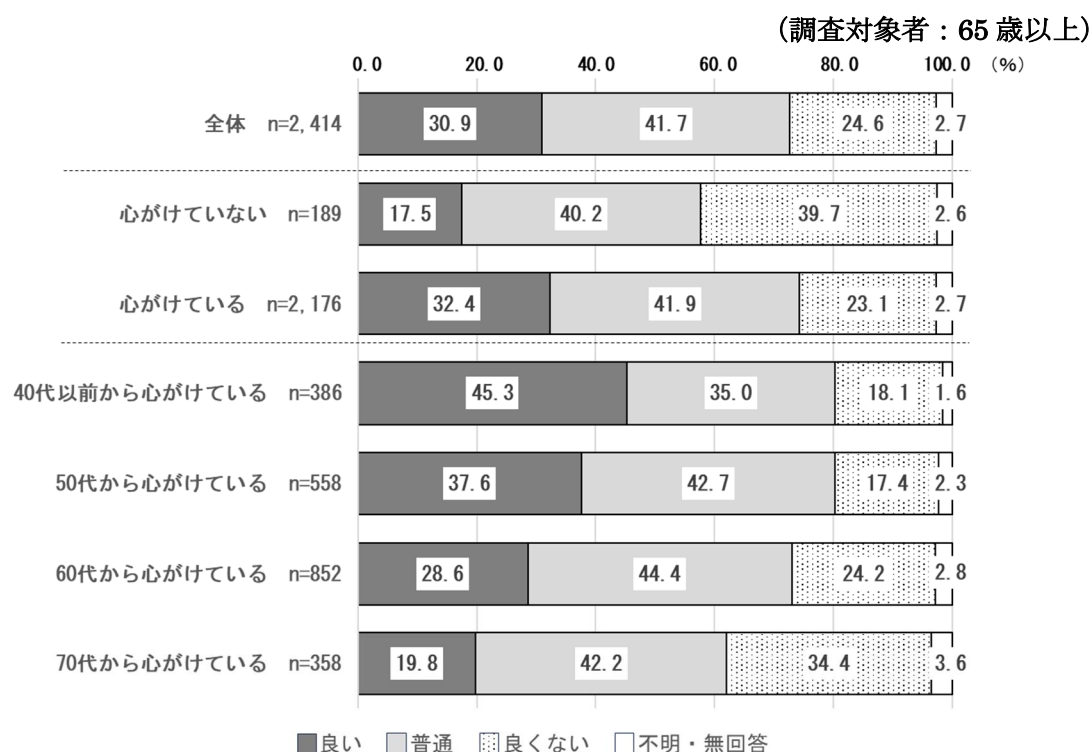
長期の縦断的な認知症の有病率調査を行っている福岡県久山町研究データに基づいた、

- ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降一定と仮定した場合
- ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降も糖尿病有病率の増加により上昇すると仮定した場合

*久山町研究からモデルを作成すると、年齢、性別、生活習慣（糖尿病）の有病率が認知症の有病率に影響することが分かった。本推計では2060年までに糖尿病有病率が20%増加すると仮定した。

出典：平成 29 年版高齢社会白書（全体版）-内閣府 （一部改変）

図2 健康についての心がけ・心がけ始めた年齢と健康状態（択一回答）

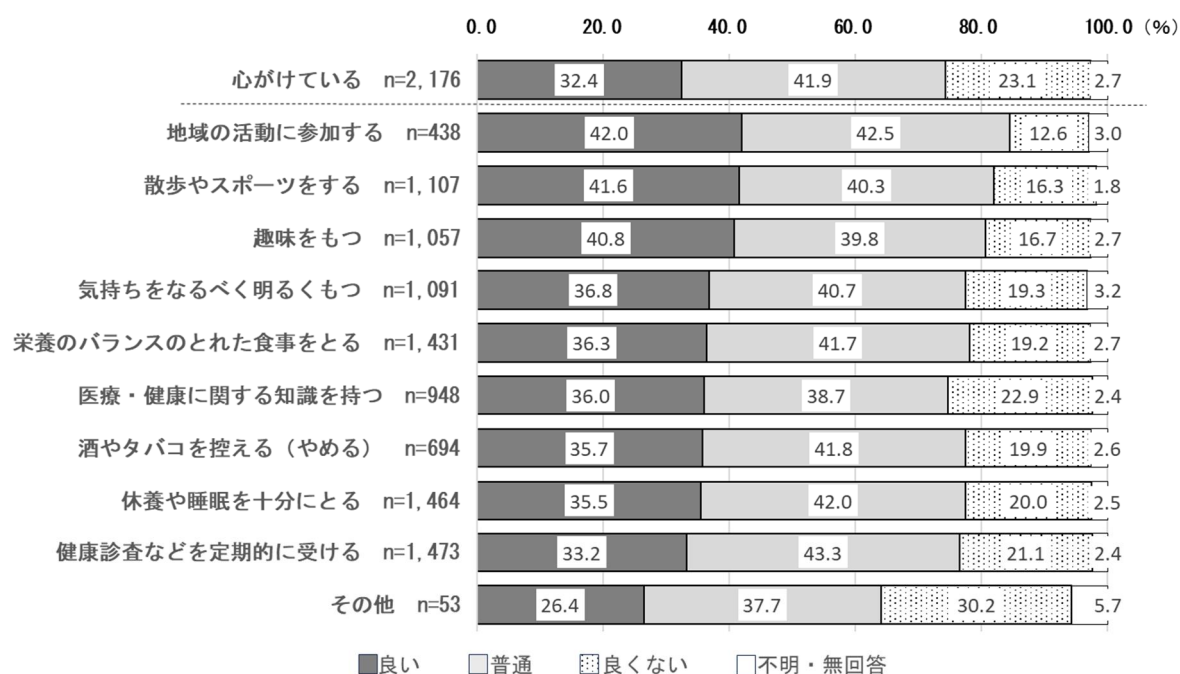


注1：「良い」は「良い」と「まあ良い」の合計、「良くない」は「あまり良くない」と「良くない」の合計

注2：「70代から心がけている」の対象は全て70歳以上である。

注3：四捨五入の関係で、足し合わせても100.0%にならない場合がある。

図3 日頃心がけていることと健康状態（複数回答）（調査対象者：65歳以上）



注1：「良い」は「良い」と「まあ良い」の合計、「良くない」は「あまり良くない」と「良くない」の合計

注2：四捨五入の関係で、足し合わせても100.0%にならない場合がある。

出典：令和5年版高齢社会白書（全体版）・内閣府（一部改変）